

小谷小学校

活動団体名： 小谷小学校 4年生

活動人数： 16名（教員2名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容

講師の先生2名に来ていただき、山田川に生息する水生生物の調査を行った。

まず、ざるの使い方について教えていただいた。次第にコツをつかみ、ウズムシやタニガワカゲロウ、赤いユスリカ、イトミミズ、ハナアブなどを捕まえることができた。ざるの中を見て「これが赤いユスリカや。」と事前の学習で知った生き物を思い出している子どももいた。

次に、網の使い方について教えていただいた。カワムツやドンコ、ヨシノボリ、アメリカザリガニなどを捕まえることができ、どの子も生き生きとした様子だった。

最後に、調査票を使ってまとめをした。昨年も同じ場所で調査をしたが、違う結果となった。講師の先生と一緒に理由を考え、調査の時期が違うことから田植えなどの影響を受けたのではないかという意見にまとまった。子どもたちは、学習を始める前には、水生生物を調査することが川の水質を調査することにつながるということをよく理解できていなかった。しかし、実際に体験をしたり講師の先生に教えていただいたりして、理解を深めることができた。



活動の様子

ざるを使って
生き物を捕まえる
様子



活動の様子

網を使って生き物を
捕まえる様子



捕まえた魚を
確認する様子



調査票を使って
まとめる様子



「みずすまし」調査票

学 校 名	長浜市立小谷小学校	調査地点 NO.	1
		調査参加人数	14

指標生物 《見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から1種類（または 2種類）に●印をつけて下さい》						
I	1	カワゲラ類				
	2	ナガレトビケラ、ヤマトビケラ、クロツツトビケラ類				
	3	ヒラタカゲロウ類			○	
	4	ブユ類				
	5	ヘビトンボ類				
	6	ガガンボ類				
	7	サワガニ			○	
I II	8	ウズムシ類(プラナリア)			○	
	9	2以外のトビケラ類				
	10	3, 14以外のカゲロウ類				
II	11	ヒラタドロムシ類				
	12	シジミ類				
II III	13	カワニナ			●	
III	14	サホコカゲロウ				
	15	ヒル類			○	
	16	ミズムシ				
	17	モノアラガイ				
III IV	18	サカマキガイ				
IV	19	赤いユスリカ			○	
	20	イトミミズ類			○	
	21	ハナアブ類			○	
水質 階級 の 判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		3	2	2	3
	2. ●印の個数			1	1	
	3. 合計(1欄+2欄)		3	3	3	3
この地点の水質階級は (合計の最も大きい階級)			I II III IV です			

調査地点の概要 《生物を採取した場所の状況について記入して下さい》	
河川名	山田川 下流
生物を 採取した 場所	下山田
	上流からみて ■ 右岸 ■ 中央 ■ 左岸
昨年度の 調査状況	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は □ I ■ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
調査日時	令和 7年 5月 26日 9時 30分 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
天 気	□ 晴れ ■ くもり □ 雨
水 温	14.4 °C 小数点1桁まで記入して下さい
気 温	16 °C 小数点1桁まで記入して下さい
川 幅	7.6 m 小数点1桁まで記入して下さい
水 深	15 cm 採取場所の平均的な水深を記入して下さい
流 速	□ 速い □ 普通 ■ 遅い (60cm/秒以上) (30cm～60cm/秒) (30cm/秒以下)
川底の 状態	□ 頭大の石が多い □ こぶし大の石が多い ■ 小石と砂 □ コンクリート ■ コケ ■ 砂と泥 ■ 泥 □ その他 ()
水のおい	■ においは感じられない □ においが感じられる(ドブの不快感のあるにおい)
水のごり	□ 透明できれい ■ 少しにごっている □ にごっている □ 大変にごっている

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚 類	
トノサマガエル(オタマジャクシ)、アメリカザリガニ、ヌマエビ、ヤゴ(サナエトンボ、ハグロトンボ、コヤマトンボ、コオニヤンマ)、コオイムシ		カワムツ、ドンコ、ヨシノボリ、ドジョウ、アブラボテ	
水草類	鳥 類	その他、気づいたこと	
コカナダモ		タニシ、ホタル(ゲンジボタル)、マシジミ	
水質階級	I きれい II 少し汚れている III 汚れている IV 大変汚れている		